



第 10 回 学自研学生委員会 議事録

2018 年 1 月 27 日

文責：筑波大学 梅野

1. 概要

日 時： 2018 年 1 月 27 日（土）13:00～15:00

場 所： 日本大学理工学部（駿河台）7 号館 7 階 771 室

参加者： 神奈川工科大 喜古
中央大 大澤
筑波大 梅野
東京農工大 矢田、菱沼
日大生産工 鈴木、春山、井上、清水
日大理工 松園、安居院
横浜国立大 井畑、植村
理事 佐藤、加藤、伊藤、鈴木、岡部
OP 足立、中山、皆川

(大学名 50 音順・敬称略)

2. 配布資料

- ・ 1 月学自研委員会事前資料
- ・ (草案) 過去資料のデータ保管方法の一部変更について
- ・ (承認済) 時田理事報告書[最終版]
- ・ 馬場理事講演会報告書
- ・ (検討事項) 自技会のメルマガ導入について
- ・ 神奈川工科大学 DS 見学会中止報告書

3. 議題

3.1 Web の更新状況等の報告（広報担当 植村）

【進捗】

- ・ (学自研 WEB) 東京モーターショー報告書を掲載済

【今後の予定】

- ・ (Facebook) 四輪研修の写真を掲載予定
- ・ (学自研 WEB) 時田理事講演会報告書、及び馬場理事講演会報告書を掲載予定

3.2 企画の進捗状況確認について

▼恒例行事企画：

【報告書】四輪研修の報告（担当/報告：安居院 ※参加委員：植村・井畑・梅野）

- ・ 3 月学自研委員会にて報告書を展開予定
- ・ 研修内容について紹介



《実車研修》：車両点検、スラローム走行、スキッド走行、ABS 研修、危険予測研修 等を実施し、
日頃の運転における癖の改善法や安全運転への心がけを学んだ

《適性検査》：視線のくせや反応速度、性格特性等のテストを実施し、テスト結果から今後注意
すべき点について担当教官よりアドバイスを得た

《総評（安居院）》

- ・車両特性や車両及び自身の限界・くせについて身を持って体験し、安全運転への意識が高まった

▼講演会企画：

【報告書】HONDA 馬場理事講演会（担当：井上 他）

《指摘のあった点》

- ・[2. 講演内容]内に担当者の感想が入っている
- ・参加人数はパーセント表記ではなく人数を明記すべき
- ・参加条件を「学生であること（学自研関係者は除く）」とする
- ・出席者に比べて事後アンケートに答えた学生数が少ない(12 名中 5 名)
⇒後日メールにてアンケートを展開したためと考えられるため、
今後は講演終了後にその場で行っていく
- ・その他、誤字・節抜け等の修正を前提とし、拍手多数で承認済

▼見学・体験企画案：

【草 案】平成 30 年度三菱重工企業見学会実施について（担当：井畑/大蘆理事）

- ・4 月頃実施予定で日程調整中、三菱重工からの回答待ち
- ・大蘆理事に適宜進捗を確認していくこと

【企画書】IHI 企業見学会進捗状況報告（担当:井畑/大蘆理事）

- ・メールにて参加者募集中（2018/1/27 現在 応募 1 名）
 - ・現時点で決定している実施内容はエンジンのオーバーホール、組み立て作業風景の見学
（航空機エンジンが中心と思われる）
 - ・より具体的な内容について適宜大蘆理事と調整すること
- 《指摘のあった点》
- ・参加募集メールに工場の概要についての説明文を掲載すること
 - ・対象を学生とする（応募多数の場合は自技会学生会員優先）

※IHI の都合により当初の 2/20 での実施を断念。日程再調整中(1/30)。

⇒2/26(月) 13:00~17:00 実施へ変更

【報告書】おおたオープンファクトリー見学会報告（担当：高野・植村）

- ・2/21 までに報告書作成



【報告書】 神奈川工科大学 DS 体験会中止報告（担当：鈴木）

- ・担当者不在の為、委員長より報告

《これまでの経緯》

- ・トヨタ自動車 DS 見学が当初の目的であったが、DS が使われていないため中止
- ・企画を存続させるため神奈川工科大学 DS 見学会に変更
- ・定員 12 名に対し応募 2 名の為、企画中止

《指摘のあった点》

- ・対象学生を研究で DS を使用するものに限定したため応募が少なかった
(学自研側の意向と神奈川工科大側の意向の埋め合わせが不十分であった)
- ・日程が平日であったため応募が少なかった
- ・より早い段階で学自研として企画の実施可否を見極めるべきであった

4. 国際交流事業連絡事項

【企画】 オーストラリア派遣について（担当：国際交流担当 佐藤理事 鈴木理事）

《日程及び内容》

3/25 日本発⇒メルボルン直行

3/26 [大学(2校)]RMIT 大学(学生フォーミュラ参戦中)、MONASH 大学 (いずれもメルボルン)

[企業(2社)]ブリスベンボルボトラックの開発企業 (ブリスベン)、

ヘンドリクスアジアパシフィック (サスペンションメーカー)

以上と交流予定。日程の最終調整中。

3/30 シドニー市内観光

3/31 朝オーストラリア発⇒夕方成田着 ※(3/30 夜シドニー発⇒3/31 朝羽田になる可能性有)

《連絡事項》

- ・自己負担はホテル代の半額 (負担額：1泊あたり約 10000 円)
- ・参加人数によって自己負担額は変動する可能性有
- ・参加希望者は委員会後面接を行う

【企画】 タイ学生日本受け入れについて

3/5 日本到着

3/6 学術講演会 ラボ見学、歓迎会

3/7 日産自動車横浜工場見学 小野測器エンジンラボ見学

3/8 東京都市大学生フォーミュラ、横浜ゴム平塚製作所見学

3/9 いすゞ藤沢工場見学

3/10 観光、スキー

3/11 東京観光

3/12 帰国

- ・タイ、台湾派遣参加学生は原則参加、その他現地学生と交流したい者も可
- ・バス、宿泊の関係上人数を事前に決定 (2月上旬に展開、2月中旬までに)



【報告書】台湾派遣活動報告（担当：安居院 他）

- ・2月中に報告書を作成し展開予定

【報告】タイ派遣参加口頭報告（担当：国際交流担当 他）

- ・参加委員 菱沼よりスライドで報告
- ・報告書を作成次第、委員内に展開予定

5. 諸連絡

5.1 関東支部管轄の学生メルマガ配信の導入について（担当 松園）

- ・関東支部の学生会員のみに配信可能、次年度からの導入に向けて検討中
- ・メルマガの導入について賛成多数

ポジティブな意見：企画の応募人数の増加が見込める

学自研の活動内容を周知できる

ネガティブな意見：参加者をお客様扱いしてしまう可能性

より厳しい企画運営が求められる

- ・参加者を避けるため、明確なルール作りが必要

（募集締め切り日、実施判断期限、副委員長・企画担当理事の投稿内容ダブルチェック 等）

《提案意見》

- ・試行期間を設ける（4月～9月）
- ・企画内容、担当者が異なる案件を流して反応を確認する
- ・メルマガのフォーマットを作る（チェックする項目が減らせる）
- ・配信ごとにフィードバックを報告
- ・学自研で生まれた企画のみ流す

5.2 過去資料の共有・管理について（草案）

- ・現状 OneDrive の容量が 10%未満

《提案意見》

- ・HDD を購入し、写真のみを HDD に移す
- ・いったん整理し、あと何年使えるか検討
- ・本当に必要になれば HDD 購入
- ・年度ごとに別アカウント、他クラウドサービス（GoogleDrive、Google フォト等）を利用する
- ・写真の保存期間を設け、報告書に使ったものののみ残す

⇒委員長が OneDrive 内データの大まかな選別を行い、後程書記が整理する



5.3 その他

- ・自動車技術会関東支部新春懇談会の学自研役員参加について
松園ほか井畑、安居院、菱沼、植村が参加
- ・次期学自研役員立候補者の暫定的な集計
- ・伊藤理事講演会は来年度の予定

6. 次回第 11 回委員会

日時：2018 年 2 月 24 日（土）

- ・学生委員会：10:00~12:00
- ・国際交流受入会議：13:00~14:00

場所：慶応義塾大学 日吉キャンパス D206